

vol.
1127

2017・2018
MEETING

CLUB NEWS

2017-2018年度国際ロータリーテーマ／ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「山形中央ロータリークラブのこれまでの伝統文化を尊重して、地域の若者とともに、ちよっと社会奉仕」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■ 会長 奥山 宏	■ 職業奉仕 齋藤 真	■ 副幹事 本間雅之
■ 会長エレクト 中川 清美	■ 社会奉仕 朝倉 克尚	■ 会計 本間雅之
■ 副会長 伊藤和子	■ 青少年奉仕 阿部 美春	■ S A A 今野久仁正
■ 直前会長 小泉俊哉	■ 国際奉仕 新沼 悟	■ 国際ロータリー会長 イアン・H.S.・ライズ(オーストラリア)
■ クラブ管理運営 玉ノ井憲史	■ 幹事 石山 徳昭	■ 第2800地区ガバナー 鈴木 一作(寒河江)
		■ 第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実(山形イブニング)



ロータリー
変化をもたらす

◆日時／2017.8.1.12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／国歌・奉仕の理想

会長挨拶



今日は、会長になりましたきづいた点を少しお話させて頂ければと思います。

お金がない事です。会社や家庭、いろんなことで、お金が無い事を経験してきましたが、ロータリーでまさか、お金の苦勞をするとは思いませんでした。会長挨拶でお金のお話をすることは相応しくないと。でも現状を知って頂きたいと思います。先月、皆様には会費を頂きました。結構な額だと思。それでも不足気味です。25万円、確かに大金です。積立金を除きますと、22万円が使用できるお金です。40名ですと880万円が使用できるお金のようです。

分担金が有ります。やくざの社会ではありませんが、上部団体の経費が必要です。RIと地区の必要経費です。その他、お世話になっております事務局員の経費が有ります。上期で200万、下期で200

万、合計400万必要です。半分が、分担金で消えていきます。

例会食事代、2200円として30名分。一回、7万円かかり40回で280万円必要になります。地区大会、IMなどの登録料で110万円、各クラブの周年事業への参加費を計上しますと、ほとんどないような状態です。

各委員会の活動費すら、厳しい状況です。メンバーの方にお聞きしますと、いろんなご意見を頂きます。必要ならば、追加で集めれば、いい、けちけちせずドーンと行きましようという、太っ腹な意見の方もいらっしゃいます。でも、多くの人は、予算内で、身の丈に合った物でいいのでは、とお思いではないかと思。こんな状況ですので、お酒の伴う例会の時、臨時会費をいただいておりますが、これからもお願いするようになりますので宜しくお願いします。今回、引き継ぎました予算が、本会計、7000円。ニコニコ会計460円との事でした。



奥山 宏・石山徳昭／毛利さんありがとう。感謝。



誕生日
遠藤隆一 佐藤吉信
佐竹純一 三浦龍夫



企業創立記念日
海谷靖夫 三條物産(株)
丹野秀樹 (株)丹野
本間雅之 ソニー生命保険(株)
相川博昭 (株)サム・コミュニケーションズ

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	21名	—
修正出席	40名	32名	29名	90.06%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形南) 本間雅之 横川恵三 (山形) 長谷川淳 横川恵三 金子昌弘 川合勝芳 (山形北) 金子昌弘 (山形東) 横川恵三 本間雅之 (イブニング) 金子昌弘			



ゲスト卓話 ひと・地域・文化・産業をつなぎ、 はぐくむワイナリーづくり

株式会社仙台秋保醸造所 代表取締役 毛利親房氏

秋保の風

昨年12月にオープンした秋保ワイナリーは、温泉で有名な秋保温泉郷(仙台市太白区)の中心部に位置する小規模なワイナリーです。周囲をぶどう畑に囲まれたワイナリーではぶどう畑を眺めながら庭園やカフェでワインや軽食を楽しむことができます。また、ワインのある生活の提案をコンセプトとした食品や雑貨の販売のほか、醸造設備も自由に見学頂けます。醸造時期には仕込みの様子もご覧いただけます。

東西に流れる名取川を挟んで谷地形を形成する秋保町は1年を通じて谷風が吹きます。この「秋保の風」が湿気や夏の猛暑を防ぎ、日中と夜間の寒暖の差を作り出しています。ぶどう畑は緩やかな南斜面にあり、日当たりや風通し、水はけが非常に良く、ブドウ栽培に適した場所です。今年秋には自社農園のブドウも収穫できる予定で、いよいよ100%秋保産のワインが誕生します。今年はメルロー、シラー、タナ、ゲヴルツトラミネール、ピノグリ、シャルドネを収穫します。

津波で消えた温泉施設 ワイン造りとの出会い

震災当時、私は仙台市内の設計事務所に勤務していました。小学2年から4年間で仙台で過ごし、父の転勤で一時的に離れたものの、18歳で仙台に戻りました。大学卒業後に東京のゼネコンに就職しましたが、2003年に設計事務所に転職して再び実家のある仙台に住むことになりました。

仙台に戻り初めて設計を担当したプロジェクトは、JR女川駅(宮城県女川町)に併設された温泉施設「女川温泉ゆぼっぼ」でした。建物内部にも電車の座席やつり棚を設け、役場の方々と一緒に創り上げた思い入れのある建物でした。

2011年3月11日、私は勤務する設計事務所にいました。小さい頃を経験した宮城県沖地震を超える強く長い揺れは、何か恐ろしい事態を予感させました。

私は震災担当に任命され、スタッフの安否確認や自社が設計した建物の被災調査、震災に係る情報収集などを担当しました。震災後すぐ、妻から「家族は無事、実家に避難した」とのメールがあり、業務に専念できました。

ようやくガソリンが入手できたので、私も沿岸部へ調査に向かいました。津波の惨状を目にしながらかつて丘を越えると、いつも見えてくる女川の懐かしい風景がそこにはありませんでした。「ゆぼっぼ」どころか町そのものがなくなっていたのです。呆然と立ち尽くす私のそばで、涙を流しながら遺体捜索をされていた地元消防団の姿は今でも忘れられません。

震災後、私は復興関連の会議に参加するようになりました。震災復興を応援している民間の企業の方々、漁師、農家、大学の研究者、行政の人たちとの新しい縁もたくさん生まれました。そんな折、被災自治体から「復興計画を作るので何かアイデアがないか」という話がありました。有志が集まり、ポラン

ティアで複数の復興提案を作成した中の一つが「地元宮城のワインで宮城の特産品を応援する」ワイナリーの設立でした。

私はもともとお酒も弱く、ワインもほとんど飲みませんでした。そんな私がなぜワイナリーを?という質問をよく受けます。当初は、宮城県の特産であるイチゴで複合施設を提案しようと考えていました。それがワインになったのは、二つの場所を訪れたことがきっかけです。

一つは、震災前に伺った金沢市にある観光ブドウ農園「ぶどうの木」です。ブドウ園には複数のレストラン、チャペル、しゃれたショップがあり多くの人でにぎわっていました。農園といえばもっと地味なものを想像していたので、「農業でここまで出来るんだ」とカルチャーショックを受けました。

もう一つは、2012年に行った新潟市の「カーブドッチワイナリー」です。1992年に始まったこのワイナリーは、ブドウ畑もワイナリーも何もなかったところからワインの一大産地と観光地を築いたのです。復興計画のアイデアを探していた私は「これだ!」と思いました。

いろいろ調べていくと、国内で育てたブドウのみを原料とする「日本ワイン」がブームであることを知りました。また、ワインは他の産業、特に食との結びつきが強いという点、観光など多くの産業への波及効果が期待できることもわかってきました。震災前には宮城県にあった唯一のワイナリーが、震災でなくなってしまったということも、ワイナリーづくりを後押ししました。

複数の復興モデルを作成し、いくつかの市町村に提案しました。しかし、震災の被害は甚大でした。被災自治体では優先すべき緊急の課題が膨大にあり、新たな産業創出となるワイナリーの設立が復興計画に上がることはありませんでした。

「新規事業は時期尚早なのだろうか」。そんなふうに考え始めたある日、復興会議である牡蠣漁師さんと一緒になりました。彼は、風評被害などで販路が回復しないと苦勞を話してくれました。私がワイナリーの話をする、「ワインが出来たら旬の牡蠣をワインとセットで全国にPRしよう」「養殖棚の下でワインを海中で熟成させ、牡蠣と一緒に引き揚げようPRしよう、牡蠣祭りをやろう」と大いに盛り上がりました。

帰り際、その漁師さんが声をかけてくれました。

「震災後にも良いことがなかったけど、今日はわくわくした。ありがとう。毛利さん頑張ってるよ、おれたちも頑張るよ」と、「確かに被災自治体は緊急の課題が山積みだ。だったら、民間で応援できるところは民間でやろう」と。ワインの力で販路が回復しない宮城の特産品を応援したいと、自身でワイナリーを設立を目指すことを決意しました。

ここで諦めたら一生後悔する

ワイナリーをつくらうと決めたものの、農業やワイン造り

の経験や知識が全くない状態でした。仕事を続けながらとにかくブドウを試験的に植え、育つまで5～6年で栽培と醸造を習得しようと考えました。ワイナリーは仕事の経験を生かし、低予算で見栄えのするものをつくれる自信があったので、あとは経験を積みれば何とかなるなと考えていたのです。無知なるがゆえに、簡単に踏み出してしまったわけです。

13年5月、試験的にブドウを植えました。当初選んだのは、沿岸部の土地でした。多くの方に手伝ってもらい、梅雨前まで順調に生育したものの、栽培技術もなければ、勤めながらの二足のわらじです。雨が降れば防除もままならず、2～3週間畑に行けないこともありました。

農業を甘く見ていたのです。ブドウの栽培も土地の確保も資金調達も、何もかもうまく行きませんでした。誹謗中傷もありました。先が見えず、精神的にも追い詰められ、沿岸部でのワイナリー設立を断念しました。

ブドウ栽培もワイナリー設立も何度も諦めようと思いましたが、まだ仕事もしていたので、引き返すこともできました。ただ、これまで応援してくれた漁師さんをはじめ多くの方々の期待を裏切ることはいしたくないという気持ちとここで諦めたら一生後悔するという恐怖心ともいえる思いで踏みとどまっていました。

仕事の愚痴はあまり言わないのですが、ある時「もうダメかも」と妻に愚痴ってしまいました。次女が生まれたばかりで、失敗すれば家族も巻き込んでしまうんじゃないかという不安もありました。

毎週末、家族をほったらかしで畑に出かける私に、いつもは愚痴を言っている妻からは意外な言葉が返ってきました。

「世の中には事業に失敗してもはい上がって頑張っている人はたくさんいる。家族も4人になったし、4人いれば何とかかな。家を取られても実家に居候すればいいよ。ここまでやったんだから納得いくまでやればいい」

その言葉に背中を押され、前に進む力をもらいました。

感謝しきれないほどの応援と励まし

これまでの失敗から学んだことを生かし、ゼロからプロジェクトを見直しました。

まずは原料となるブドウが確実に育つ場所を探しました。山形県南陽市にある「酒井ワイナリー」に泊まり込んで勉強をさせてもらいました。山形のワイナリーで組織する勉強会にも参加しました。そこでもたくさんの方々の応援とアドバイスを頂きました。そこで得た知識をもとにたどり着いたのが、現在ワイナリーがある秋保温泉郷の中心部です。さらに、イタリアの修業先からエールをくれた醸造家の高根雄人さんが仲間に加わってくれました。たくさんの方々の友達も、真冬の開墾作業を手伝ってくれました。不安のあった資金面も、三菱商事復興支援財団からの出資や仙台市の制度資金を活用し、金融機関からの融資も無事、得られました。

原料となるブドウも、山形や山梨のブドウ農家さんから分けてもらうことができました。感謝しきれないほどの応援をもらい、ワイナリーはようやく完成に向けて動き出したのです。2015年9月の醸造所開所を経て、12月17日、ついに秋保ワイナリーがオープンしました。昨年は山形や山梨からぶどうを購入しワインを生産しました。そして今秋いよいよ自社農園のぶどうで100%秋保産のワインも生産します。

我々の理想とするワイナリーは「ひと・地域・文化・産業をつなぎ、はぐくむワイナリーづくり」です。現在、東北は、震災による問題や農業の後継者不足など、様々な課題を抱えています。地元宮城で生産されたワインが人、地域、文化、産業をつなぎ、育み、にぎわいや産業振興に寄与することが我々の創業の思いです。もちろん、良いブドウを育て、良いワインを造ることが大前提です。

宮城のワイン文化普及と担い手育成

宮城では、ワイン造りの胎動が始まっています。ここ数年で宮城のワイン文化が大きく変わらざるを得ないでしょう。私の知る限りでは現在ワインを生産するために気仙沼、南三陸町、大和町、秋保町(2か所)、川崎町、名取市でぶどうの栽培が始まっており、順調に進めば、2018年までに当社を含めワイナリーは4か所になる見込みです。

しかし問題点も多いのが実情です。もともと果樹栽培とワイン造りが盛んではないため、栽培・醸造技術者を育て、栽培ノウハウを蓄積していく必要があります。うちもまだスタートしたばかりですが、担い手の育成にも取り組んでいます。

7月には、当ワイナリーで福島県と宮城県の農家を対象としたぶどう栽培の研修がスタートしました。また、県内でワイナリー設立を目指す方々の醸造研修や委託醸造なども行っております。ぶどう栽培やワイン造りを目指す方々と協力した組織づくりも進めています。一つ一つの取り組みは小さな点ですが、点から線、線から面へとワイン造りが広がってほしいと願っています。

ワイン以外にも、南三陸町、仙台市(根白石)、亶理町のリンゴを使用したシードルを生産しました。今年は宮城県が開発した「サワールージュ」という酸味のある加工用のりんごも使用しさらに美味しくなる予定です。地元の飲食店と連携し、ノルマンディーやブルターニュ地方では定番の「シードルと魚介類のマリアージュ」で宮城のおいしい魚介類や旬の食材をPRして行きたいと考えております。ご存じない方もいらっしやるとは思いますが、宮城には世界三大漁場の一つ「三陸・金華山沖」があるので。

ほかにも、国際認証(FSC)を受けた南三陸町の森の間伐材を利用したワインの贈答用の木箱を試作したり、雄勝石を使ったソムリエナイフの試作も進めたりしています。ワインに漬け込んだお肉で作った「ワインベーコン」は、地元企業と連携したオリジナル商品として販売も始め、大変ご好評を頂いています。

今後ワイナリーでは地元の農家や企業と連携し、野菜の収穫体験やソーセージ作り教室、日本酒の酒蔵・ウィスキー工場・ワイナリーをめぐるツアー、魚介類の養殖現場をめぐるツアーなど食育を目的としたグリーンツーリズムも行って行く予定です。外国人観光客の誘致も積極的にい行く多くの観光客を呼び込み、地域の活性化につなげるのが大きな目標です。

震災から5年が過ぎました。沿岸部ではようやく高上げ工事が終盤をむかえようとしています。街づくりはまだまだこれからです。宮城には、優れた地域資源がたくさんあります。業種や地域を超えて連携し、ワインを活用しているいろいろな「宝物」の魅力を発信することで、宮城を盛り上げていければと考えています。宮城の豊かな地域資源をしっかりと応援出来るよう、いいワインを造っていきたくと思います。

ひと・地域・文化・産業をつなぎ、はくむワイナリーづくり



株式会社 仙台秋保醸造所

秋保ワイナリーのめざすもの

- ▶ 宮城の食・工芸・芸術との連携による新たな価値の創成
- ▶ 宮城の日本ワイン文化普及と特産品のPR
- ▶ ワインを通じた食料王国宮城ならではのツーリズムやイベントの創成
- ▶ 宮城県産のワイン産地の形成と担い手の育成
- ▶ 異業種なぶどう栽培とワインの生産

異業種との連携商品



食料王国宮城の新たなツーリズム
ワイン → ウィスキー → 日本酒 → ビール



Food & Wine Festival テロワージュ宮城

地元の食とワインのマリアージュを通じたお祭り
Food: プロのシェフが旬の食材とワインのペアリングを行う
Cappae
Maichas: 生産者の市場+マルシェ
Tour: 平日は月に生産現場やワイナリーを巡るツアー開催
(江戸寺ワインフェスティバル、秋保ワインバルなど)



食料調達グルメツアー



宮城県産のワイン産地の形成と担い手の育成

- ▶ 担い手育成のための仕組みづくり (秋保ワインスクール)
- ▶ 産官学連携による栽培・醸造技術向上への取組
- ▶ 気象条件、品種選定、防除剤など情報共有
- ▶ ワイン文化普及のやめの機能的組織形成 (宮城県ワイン協会の設立)

研修受入・担い手の育成



宮城の食をつなぐ 海中熟成ワイン





CLUB NEWS

2017-2018年度国際ロータリーテーマ／ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「山形中央ロータリークラブのこれまでの伝統文化を尊重して、地域の若者とともに、ちよつと社会奉仕」

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■ 会長 奥山 宏	■ 職業奉仕 齋藤 真	■ 副幹事 本間雅之
■ 会長エレクト 中川 清美	■ 社会奉仕 朝倉 克尚	■ 会計 本間雅之
■ 副会長 伊藤和子	■ 青少年奉仕 阿部 美春	■ S A A 今野久仁正
■ 直前会長 小泉俊哉	■ 国際奉仕 新沼 悟	国際ロータリー会長 イアン・H・ライズ(オーストラリア)
■ クラブ管理運営 玉ノ井憲史	■ 幹事 石山 徳昭	第2800地区ガバナー 鈴木 一作(寒河江)
		第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実(山形イオン)



ロータリー
変化をもたらす

◆日時／2017.8.8.18:00 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／国歌・奉仕の理想

◆ビジター／RI第2800地区 ガバナー 鈴木一作様 RI第2800地区 第5ブロックガバナー補佐 須藤吉実様
RI第2800地区 地区大会実行委員長 大沼保義様 RI第2800地区 ガバナー月信副編集長 大沼 仁様

会長挨拶



皆さんこんばんは。今日は変更例会、ガバナー公式訪問であります。

初めに、今日のゲストをご紹介します。2800地区、寒河江ロータリー所属鈴木がバナーです。続いて、我がクラブが大変お世話になっております須藤ガバナー補佐です。また地区より、大会実行委員長の大沼様、広報副委員長の大沼様にお越しいただいております。

18時より飲めると思ってきた方には残念ですが、楽しみの前には、越えるべき試練があります。ガバナーを

囲んで、大いに語り合っ、学んでいきましょう。

本来ですと、ガバナーの思いを、メンバーに伝えていなければなりません、残念ながら、私の中で完全に消化しておらず、消化不良を起こしております。

ガバナーの熱き思いを、伝えきっていません。是非、折角の機会です、お互い直接対話して、熱き思いを、感じあってください。鈴木ガバナーも、熱き思いを、時間の許す限り語ってください。メンバーの皆様も、より良きクラブにするために、日ごろ感じたこと、疑問に思ったことを、お聞きしてください。

楽しく、意義のある時間にしましょう

山形中央ロータリークラブ 第1回 クラブフォーラム

2017.8.8.19:30

会場／ホテルメトロポリタン山形

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	26名	—
修正出席	40名	32名	31名	96.88%
他クラブでメイクアップされた会員	(山形南) 川合勝芳 横川恵三			



ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2800地区 2017～2018年度

ガバナー 鈴木 一作氏

国際ロータリー第2800地区 2017～2018年度

第5ブロックガバナー補佐 須藤 吉実氏

2017-18年RI会長イアンライズリー氏の説明は、「ロータリーの意義ある活動は、世界に対して、地域に対して、クラブに対して、そしてロータリアンに対して変化をもたらす」というものでした。それらの「変化をもたらす」ための方策として、全クラブにRI会長賞をとって欲しいという要請がありました。その上で、世界に変化をもたらす一環として、「会員が一人一本の木を植える」運動が提唱されました。

地区目標：美しい心、ロータリアンの矜持

～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

国際協議会の最終日に、イアン・ライズリー氏は、「ロータリーを学びましょう。親しみ睦み合いましょう。熱い情熱を胸に、皆で奉仕に取り組みましょう。そして、平和を目指しましょう。そこに、大きな感動を共有し合えるのです」という主旨の話を、涙ぐみながら力強く語りました。その情熱的で感動的なスピーチの要約を、(私自身の思いも込めた)簡潔な日本語で言い換えたものが、上記の地区目標です。

ロータリーが「世界に対して、地域に対して、クラブに対して、そしてロータリアンに対して変化をもたらす」ような意義ある活動を行なうためには、我々ロータリアンが「美しい心、ロータリアンとしての矜持を持った仲間同士である」ことが、何よりも大切だと思います。

私自身の思い・・・というのは、以下の内容です。

- ①**修養** (ロータリアンとしての自己研鑽・高潔性・利己と利他の調和・資質向上、Guy Gundakerの思い)、
- ②**友情** (結縁、尊縁、随縁、親睦、寛容、共生、敬愛)、
- ③**情熱** (誠実で熱く純粋な情熱は、人を動かし、事態を動かす)、
- ④**奉仕** (ロータリアンは修養に努めながら、友情と情熱と愛に満ちた奉仕を実践する)、
- ⑤**平和** (世の中の安心・安全・平和、皆の幸福に寄与する立派なロータリアンたらん)、
- ⑥**感動** (ロータリアンだからこそその達成感、充実感、満足感、そして感謝の心)

こそロータリーの真骨頂であり、ロータリアンの美しい心、矜持の源泉と言えるのではないのでしょうか？

(「修養」というのは少し古めかしくて堅苦しい言葉ですが、「知識を高め、品性を磨き、自己の人格形成に努める」という意味であり、我々ロータリアンに相応しい言葉だと思います。)

●地区運営上の指針

< 8つの地区重点事業 >

- ① 会員増強
- ② 奉仕プロジェクトの充実・推進
- ③ 公共イメージと認知度の向上
- ④ ロータリー財団の支援
- ⑤ 米山奨学会の支援
- ⑥ 青少年交換事業の推進
- ⑦ リーダー育成
- ⑧ ロータリーの親睦（我々は、ロータリーの仲間である）



< 6つの重点目標 >

1. ロータリーを学び、好きになり、活かし、広めるリーダーを！
2. 自由討論で親睦と敬愛の念を深め合う「フォーラム例会」と「IM」を！
3. （飲食を伴う）夜の例会で、ガバナーのクラブ公式訪問を！
4. 「今日は来て良かった」と、誰もが思う会合と事業を！
5. 「ロータリー、ロータリーの奉仕哲学、ロータリーの目的」の理解を！

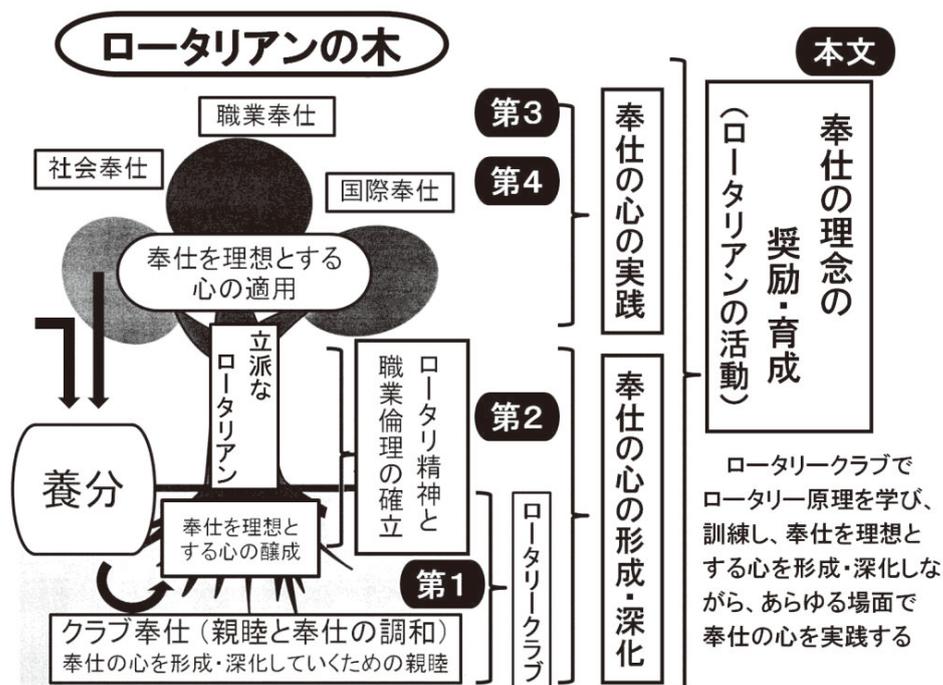
（その他：各クラブへ必要以上の経費を使わせないように気を配る）

●ロータリーの奉仕哲学（奉仕理念、奉仕の理想、奉仕の理論）とは？

少なくとも2010年6月以降は、「ロータリーの奉仕哲学」＝「超我の奉仕という人生哲学」である。

●ロータリーの目的

ロータリアン、ロータリークラブ、地区やR Iの目的、そしてガバナーの目標は、すべて「ロータリーの目的」を推進することです。「ロータリーの目的」を理解するには、右図の「ロータリアンの木」で考えると分かり易いでしょう。



●ロータリーとは？



①ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることが奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを旨とした、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。
(1976年：R I 理事会決定)

②ロータリーの根本は、利己と利他の心を上手く調和させる「超我の奉仕」という名の人生哲学である。それは、実生活上、実に道理にかなった「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉をもとに、原理・原則とした人生哲学である。
(1923年：決議 23-34 の1) <一部改編／要約>

③ロータリーは、事業、専門職務、地域社会のリーダーらによって構成され、親睦と寛容、個人の資質向上、事業の維持・発展に努めるとともに、家庭や仲間、職場、地域、国際社会における幸福の達成に寄与する「奉仕の心と実践」に満ちた立派なロータリアンを育てる世界的な団体である。

(Guy Gundaker の「ロータリークラブの定義」を参考に、最近のR I の方針を加味して(私が)作成した文書)

- 「ロータリーとは？」と問われたら、私はR I (国際ロータリー) 役員であるガバナーとして、
- * 問うた人が一般人の場合なら、ロータリー “広報” である①を中心に語ります。
(但し、「事業および専門職務に携わる指導者」に「地域社会のリーダー」も追加します)
 - * 問うた人がロータリアンの場合なら、①だけではなく、ロータリー “情報” である②についても語ります。
 - * ①はロータリーの外観、②はロータリーの内面と言い換えても良いでしょう。

実際には、「ロータリーとは？」に対する個人的な思いは、ロータリアンによって様々でしょう。例えば、佐古亮尊氏 (第 2740 地区パストガバナー) は、彼の著書「ロータリーの森を歩く」の中で、“良質な職業人が親睦の中に相和し、自己を磨き、実力を涵養し、そのエネルギーを奉仕のエネルギーに昇華させ、自分のクラブ、職業、地域社会、さらに国際社会に資していこうとする団体”こそがロータリーであると述べています。

実は、私の (ガバナーという立場を離れての) 個人的な思いは③です。というのも、私は名著『A Talking Knowledge of Rotary』(1916年)を書いた Guy Gundaker の信奉者だからです。この本は、当時のロータリーの一般奉仕概念とクラブ運営の在り方を体系化したもので、史上初めてのロータリーの教科書・解説書と言ってもよいでしょう。しかも、書かれている内容は、決議 23-34 の下地にもなっているのです。彼は、その本の中で「ロータリークラブの定義」を明記しましたが、それを参考にして私なりに作成したものが③です。

●地区リーダーシップ・プラン (District Leadership Plan <DL P>) の目的

地区リーダーシップ・プラン (DL P) の目的 (ガバナーとガバナー補佐の重要任務を明確化)

DL Pの目的は、ガバナーから任命されたガバナー補佐がクラブ運営に関連した管理業務を遂行して、ガバナーが専念すべき責務を果たす時間が持てるようにすることである。

(2015年1月：理事会決定118号 <一部改編>)

●クラブ・リーダーシップ・プラン（Club Leadership Plan <CLP>）の目的

CLPの目的は、効果的なクラブ管理運営を導入することにより、ロータリー・クラブの強化を図ることである。具体的には、

- a) <会員増強> 会員基盤を維持、拡大する。
 - b) <奉仕プロジェクト> 地元や外国の地域社会のニーズに沿ったプロジェクトを実施し、成功させる。
 - c) <ロータリー財団支援> R財団に対して、財政的貢献およびプログラム参加を通じて支援する。
 - d) <リーダー育成> クラブの枠を超えてロータリー全般にわたって奉仕できるリーダーを育成する。
- クラブリーダーは、既にDLPを開発・採択している地区リーダーと協議した上で、CLPを実行する。CLPは、毎年、見直しをするべきである。

(2015年1月:理事会決定118号<一部改編>)



近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート	山形南 ホテルキャッスル	山形 山形ランドホテル	山形北 山形ランドホテル	山形東 ホテルキャッスル
中山 しまわり館	山辺 料亭さつき	上山 月岡ホテル	寒河江 格蘭デル寒河江	天童 滝の湯
天童西 ホテル王将	寒河江 さくらんぼ ホテルシンフォニー	天童東 天童ホテル		
山形イブニング パレス格蘭デル	※ 欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。			